つなごちゃんだより

2023年度
7月号

〒177-0045 練馬区石神井台３丁目 31 番４号　小規模保育園手をつなご石神井台
TEL　03(6767)1204

７月を迎えて、保育園では夏の遊びの準備を始めています。また、七夕の日にはブラックシアター（パネルシアターと同じです）をする予定です。部屋を暗くしてブラックライトをあてると、蛍光塗料で描かれた織姫や彦星たちが輝いて見える仕掛けです。

２歳児は“お友だちとみんなで同じことを言ったりしたりする”のが、楽しくて仕方ない年齢です。誰かが走り始めるとみんな次々に走り始めます。お友だちを見て『わ！おもしろそう』と思った瞬間の目の輝きは最高です。そして、言葉の理解も進みました。これからの予定を話すととても楽しみにしたり、楽しかったことを話したりしています。

保育園では、毎日の遊びの中でお友だちとの楽しい経験（もちろん喧嘩もしています）をたくさんしています。行事の時などはいつもと少し違う経験をお友だちと一緒にできるようにしたいと思っています。

園長　浦山恵美子

今月のねらい

・安定した保育士との関わりの中で、自分の気持ちを表わしながら、その様々な気持ちと向き合えるように援助する。
・保育士や友だちと一緒に、水や色水などを使った夏の遊びを十分に楽しむ。

今月の予定

７日（金）　七夕まつり
12 日（水）　避難訓練（水害）
19 日（水）　身体計測
20 日（木）　避難訓練（火災）

個人面談・保育参加
５日（水）、７日（金）、11 日（火）

運営委員会について

園児と保護者の立場に立った良質な保育を行うために運営委員会を行い、ご要望・アドバイス・ご意見をいただいています。
委員構成は、当園第三者委員（主任児童委員）１名、朝日住宅社（当マンション管理会社）より先輩ママとして１名、保護者２名、当法人理事長・園長です。

今年度の保護者運営委員に立候補をしていただける方は、７月 14 日（金）までに浦山までお声がけください！

個人用の粘土とクレヨンを準備しました！

一つ一つに自分のマークが入っています♪

こちらの QR コードから保育園のホームページ・おたよりをご覧になれます。

子どもの様子

雨で室内遊びが多くなってきました。
個人用で準備をした粘土やクレヨンは、使いたいときに自分で出せるように置いています。１人が「粘土する」と持ってくると「〇〇ちゃんもする！」と次々とお友だちも持ってきて、机を囲んで座ります。
小さくちぎって、粘土板にたくさん並べたり、偶然できた形に「ふねだよ」と名付けて“ママ”や“〇〇ちゃん（自分）！”を乗せたりして、想像を膨らませています。

幹の隙間を覗いて…何かいるかな～？

雨あがりの公園へ行くこともあります。
水たまりがあったり、むわっとした湿度いっぱいの空気・・・。
そんな季節感をたくさん感じることを大切にしたいよね！と大人も汗だくです。
子どもたちの顔色や体調に気を付けながら、一緒に雨粒がついたクモの巣、濡れた芝生、湿っている土にたくさん出てくるダンゴムシなどを見つけて盛り上がっています!!

子どもの見方を知り、子どもの味方になるために

～行動の見方を変えて、理由がわかると声のかけ方が変わってくる～

先日ご案内しました、心羽えみの保育園における子育て講座に参加させていただきました。
抜粋してお伝えしますので、参考にしてください。
（文責　菅原純子）

怒った時に手が出る、物にあたるのを見た時にはついつい・・・

「どうしてそんなことをするの?!」

と言ってしまう。
でも見方を変えたら気が付いた！
⇩
自分の気持ちをうまく伝えられなかったみたい

「イヤだったのね。どうしたかったのか教えて。」

お着替えしない！やだやだやだ！にも・・・

「早く着替えて！」

と言ってしまいますよね。
でも見方を変えたら気が付いた！
⇩
この服が好きで、まだ脱ぎたくないのね

「この服を着ていたかったんだね。きれいに洗濯するからお着替えしようか。」

⇒ 子どもの行動を多面的に見てみよう！

気持ちを受け止めることが大切
＊「受け入れる」「従う」ことは違います

＜子どもの「買って～」に・・・＞
「買ってほしいのね」と言って買わない＝気持ちを「受け止める」こと
「1 つだけね」などと言って買う
＝子どもの要求を「受け入れる」子どもに「従う」こと

～認め方・ほめ方～

「すごいね」 「やったね」 「えらい」	⇒	「靴が履けたね」 「片付けたね」 「食べたね」

- 具体的な行動の実況で OK
- 行動することが増えたらほめることを間引いていく

子育てがうまくいかない時もあります。
でも子どものためを思って悩んでいるなら、その時点ですでに子どもの味方になっています!!
困った時は親だって誰かを頼って良い。
その姿を見て子どもも誰かを頼って良いことを感じていきます。